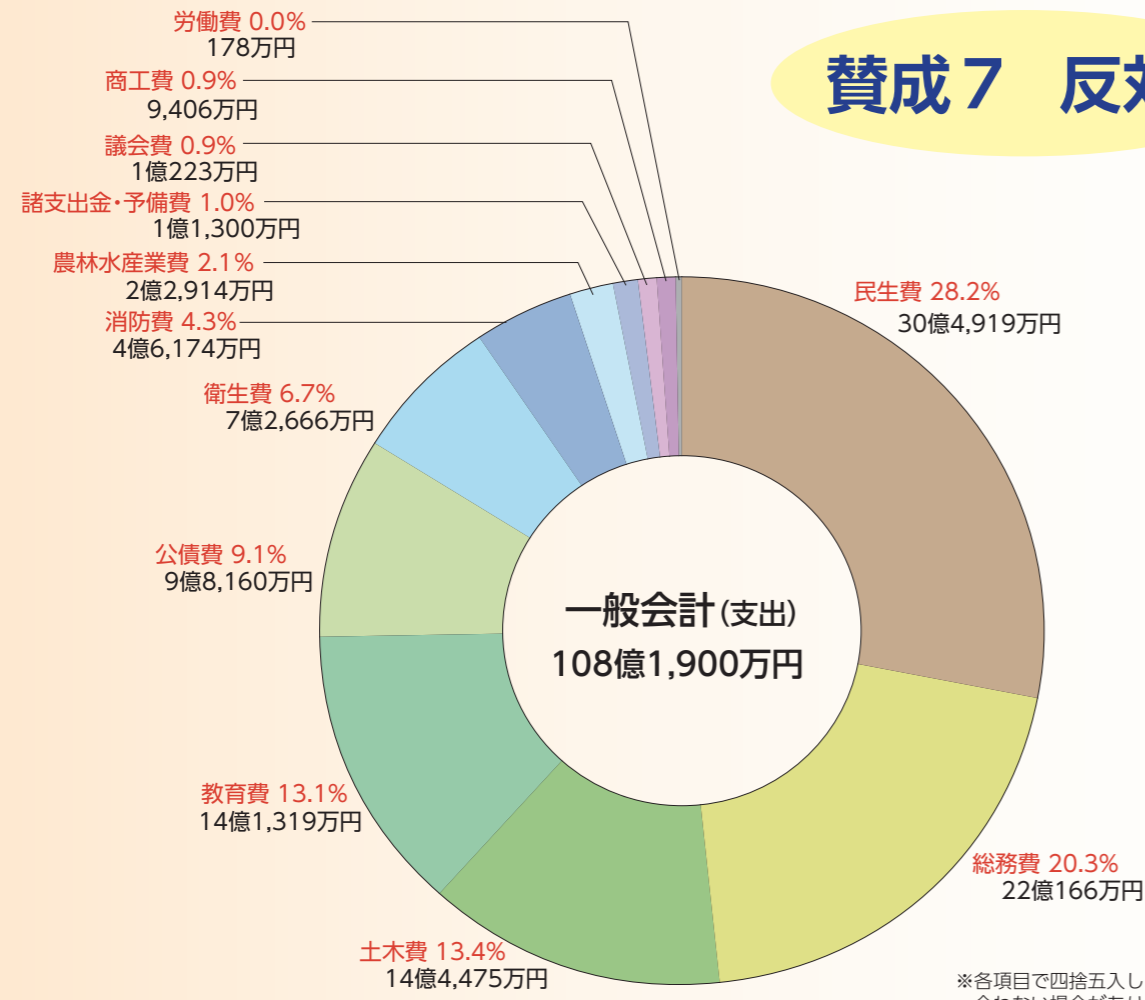


令和5年度一般会計予算

原案
可決

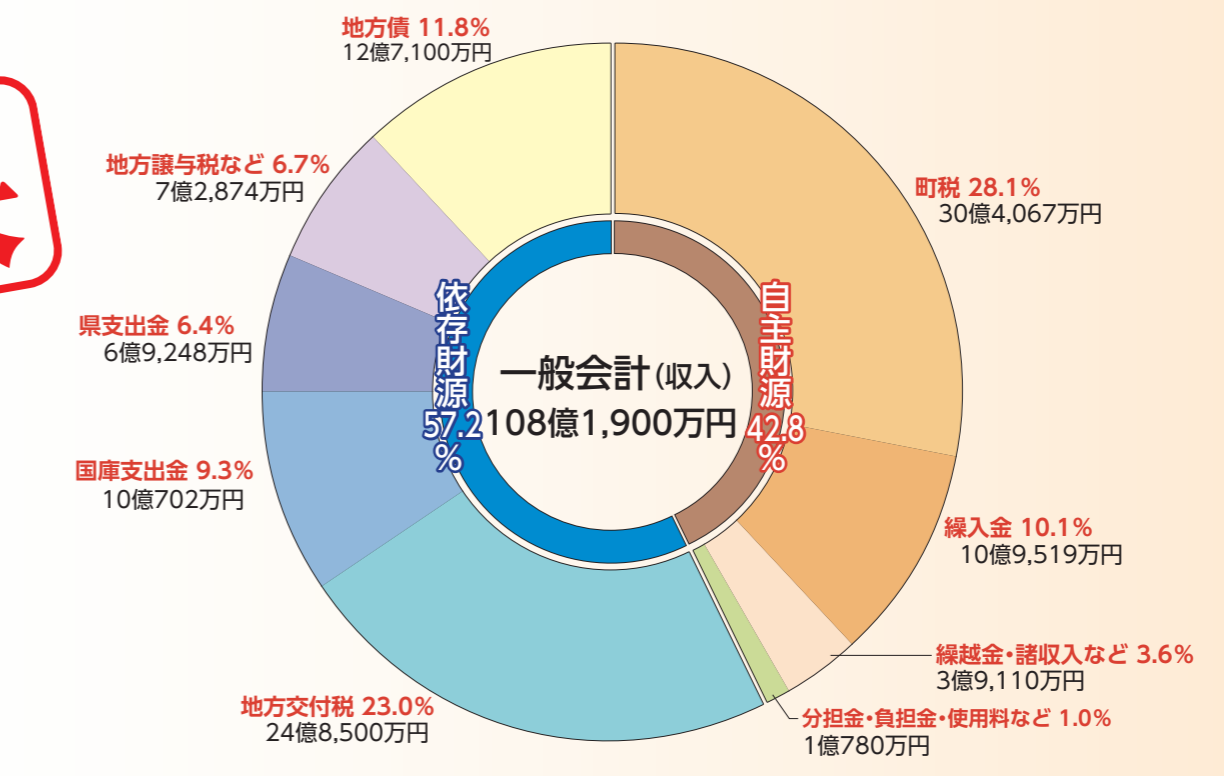
賛成7 反対6



※各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

支出の主な増減要因

- ・総務費 庁舎等リニューアル事業、デジタル化推進事業、三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト、地域資源を活用した多様な人材による共創型課題解決プロジェクトの増等により、総額 899,003千円の増(+69.0%)となった。
- ・衛生費 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業の減等により、総額 41,452千円の減(▲5.4%)となった。
- ・農林水産業費 西部地域土地改良事業外周測量業務の減等により、総額 36,135千円の減(▲13.6%)となった。
- ・商工費 中山道愛知川宿活性化事業、湖東三山館管理事業の減等により、総額 27,762千円の減(▲22.8%)となった。
- ・土木費 町道愛知川栗田線道路改良工事、歌詠橋耐震補強修繕工事に伴う豊郷町建設事業負担金、道路維持補修測量設計業務および工事費の増等により、総額 133,803千円の増(+10.2%)となった。
- ・教育費 愛知中学校等大規模増改築事業の完了による減等により、総額 1,203,782千円の減(▲46.0%)となった。
- ・公債費 臨時財政対策債、公共事業等債、地方道路等整備事業債の償還開始に伴う元金償還の増により、総額 18,770千円の増(+1.9%)となった。



一般会計予算は108億1,900万円で、前年度当初予算と比較すると2億7,500万円(▲2.5%)の減少となった。

収入の主な増減要因

- ・地方交付税 国の地方財政計画により、臨時財政対策債の総額が減少し、臨時財政対策債振替相当額が減少したことから普通交付税が32,000千円、地域おこし協力隊の人員増により特別交付税が40,000千円、総額72,000千円の増(+3.0%)となった。
- ・国庫支出金 愛知中学校等大規模増改築事業の完了により、その財源である学校施設環境改善交付金、新型コロナウイルスワクチン接種事業の財源である体制確保事業補助金・接種事業負担金の減、デジタル推進事業の財源であるデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)の増等により、総額316,491千円の減(▲23.9%)となった。
- ・県支出金 県知事・参議院議員選挙事業の財源である市町村交付金、地籍調査事業の財源である地籍調査対策事業費補助金の減等により、総額48,777千円の減(▲6.6%)となった。
- ・繰入金 基金繰入金については、財源不足を補うため財政調整基金894,085千円、教育振興基金66,000千円、合併振興基金70,000千円、がんばる愛荘町まちづくり基金64,400千円、森林環境譲与税基金700千円を取崩す見込である。
- ・地方債 庁舎等リニューアル事業の財源である一般事業債、公共施設等適正管理推進事業債の増、愛知中学校等大規模増改築事業の完了による合併特例債、学校教育施設等整備事業債の減、臨時財政対策債の減等により、総額280,800千円の減(▲18.1%)となった。

主な重点施策の取組

次代を担う「ひとづくり」プロジェクト

- ・三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト 20,520千円
- ・健康増進事業 26,984千円
- ・元気なまちづくり事業 24,854千円
- ・地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト(愛着と誇りを醸成していくためのキャリア教育事業) 5,226千円

誰もが活躍できる「ことばげんせい」プロジェクト

- ・西部地域土地改良事業 46,980千円
- ・空家対策事業(利活用) 11,858千円
- ・ふるさと納税事業 57,172千円

未来を先取る活力ある「まちづくり」プロジェクト

- ・地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト(多様な人材・活動をつなぐための中間支援組織育成事業) 19,174千円
- ・庁舎等リニューアル事業 845,860千円
- ・移住・交流事業 54,767千円
- ・国スポ・障スポ開催準備事業 14,125千円

地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト(愛荘町ゆかりの資源を活かした戦略的広報事業)

- 6,513千円

